

Data(2016年9月現在)

所在地: 〒512-8045 三重県四日市市萱生町1200

スタッフ: 豊島泰子(教授), 伊藤薫(准教授), 後藤由紀(准教授), 畑中純子(准教授), 栗原喜代子(講師)

URL: <http://www.y-nm.ac.jp/>



四日市看護医療大学看護学部看護学科 地域看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は、建学の精神「人間たれ」を基盤として、高度な専門性と豊かで温かい人間性をもった保健師・助産師・看護師の育成をめざし、2007(平成19)年4月に看護学部看護学科を開設しました。2011(平成23)年4月には大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)が設置されました。2012(平成24)年度入学生から保健師の選択制(50名)が設けられ、現在は地域看護学領域の5名の教員が50名の学生の保健師教育を行っています。

Education

どのような教育をしていますか？

本学のカリキュラムは、5つの教育区分と7つの教育目標に分けられ、学年ごとの到達目標を設定し教育が行われています。1年次から健康の概念、健康と生活との関連について学び、2年次から地域看護学概論、産業看護学概論を学習し、コミュニティケア実習として、大学周辺の地域の地区踏査を実施し、健康増進施設、保健所、企業等で5日間の実習を行い、看護職(保健師)の役割について学びます。2年次後学期から保健師の選択制の講義を開始し、4年次で企業1週間、保健所3週間の計4週間の実習を行います。企業での実習では、禁煙などの健康教育、特定保健指導の実施にも取り組んでいます。四日市市保健所での実習として、2年次で地区踏査を行った大学周辺地域での健康教育や継続家庭訪問

も経験するなど、地域住民の方々のお力を借りながら保健師教育を行っています。

Research

どのような研究をしていますか？

現在5名の教員は、在宅看護、産業保健、公衆衛生看護を専門としています。地域看護学領域として保健師教育の充実に向け、授業研究を行っています。各教員は「介護負担・訪問看護」「家族への支援方法」「産業看護職のコンピテンシー」「医療機関における産業看護活動」「メンタルヘルス不調者の職場復帰支援」「ケア従事者のSOCを育むプログラム開発と評価」「(地域診断)授業の展開方法」等の研究活動に力を注いでいます。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

2013(平成25)年から四日市市の委託事業として潜在看護師と病院の看護師の方を対象に訪問看護師養成研修を実施し、四日市市内に多くの訪問看護師を輩出しています。本学の開設当初から設置されている産業看護研究センターでは、地域社会における産業看護のシンクタンクの機能を果たし、三重産業看護研究会を支援するなど地域に対し積極的な活動を行っています。本学は四日市市との公私協力のもと開設されていますので四日市市保健所とのつながりも深く、介護予防事業やHIV啓発活動に参加し、出前講座の啓発DVDを学生が協力し作成する活動を行っています。

ひとこと

本学には入学時から保健師をめざしている学生もいますが、多くは看護師として就職します。現在、看護師としても必要な地域看護学の講義内容について教員全員で検討するとともに、保健師課程を選択した学生が楽しいと思える保健師教育に日々取り組んでいます。

……豊島

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話, FAX, E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 ☎ 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp